



# おおくす

校長 藤本 尚

## オンライン授業が始まりました

9月2, 3日にオンライン授業の練習を各クラスで行いました。右の写真はその練習風景です。

そして3日, 16時から30分間, 各学年でオンライン授業のリハーサルを行いました。



6日からは, 8時50分から11時30分を基本としたオンライン授業を実施しました。学校では教員がPCに向かって指導しました。



また, 児童の様子を下の写真のように画面で確認し, 一人ひとりに対してきめ細かな指導につながるように心がけています。



今後も児童の学びが途切れないよう工夫しながら教育活動を進めますので, ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

## 長太小学校の子どもたちの学力・学習状況について

本年5月27日に, 小学校第6学年を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果概要について, 本校の児童の学力の定着状況, 学習状況, 生活習慣等の分析結果や今後の取組を以下のとおりまとめました。

なお, 「全国学力・学習状況調査」は, 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から, 全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し, 教育施策の成果と課題を検証し, その改善を図るとともに, 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる目的で実施されています。

さらに, そのような取組を通じて, 教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的とされています。しかしながら, 調査により測定できるのは学力の中でも特定の一部分であり, 学校における教育活動の一側面です。このことを十分考慮し, 今後の本校の子どもたちの学力向上や取組に生かしていきます。ご家庭のご協力をよろしくお願いいたします。

## 学力の状況 今年度の結果から

国語は全国平均を上回っております。算数は三重県平均と同等です。三重県も全国と同等になってきています。このことから、これまでの取組によって少しずつ効果が出てきたのではと考えています。今後もよりいっそう授業改善を進めながら、子ども一人ひとりの力を伸ばしていきたいと考えています。

	国語	算数
長太小 正答率	◎	○
三重県正 答率	64	69
全国 正答率	64.7	70.2

※◎全国平均を上回った ○県平均と同等

### 【児童質問紙調査の結果】

全国学力・学習状況調査では、学力の調査だけではなく、児童の学習に対する関心・意欲・態度や規範意識・自尊感情、学習の基盤となる活動・習慣についても調査しています。「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と好意的に回答した割合を全国と比べて、長太小児童の強みや弱みを分析しました。以下はその結果です。

学習に対する関心・意欲・態度では「自分の考えがうまく伝わるよう工夫して発表すること」ことや「自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていたか」という問いに対して、好意的に回答した児童の割合が全国と比べてよくありませんでした。今後は、授業の中で課題について考え、自分の意見を出せる機会を増やしていく必要があると考えています。

また、学習の基盤となる活動・習慣では「計画的に勉強しているか」という問いが低い結果となりました。学校でも指導しますが、ご家庭でもよろしく願います。

逆に、高い結果となったのが、「人が困っているときに進んで助ける」ことや「いじめは、どんな理由があってもいけないこと」という意識でした。誠実に心正しくあろうとしていることがわかります。日ごろから、子どもたちの行動をよく観察し、ご助言をいただいているおかげだと思えます。これからもよろしく願います。

## 今後の取り組み

### 【国語科】

- 「自分の考えをまとめて書く」力を高めるため以下の指導を行う。
  - ・ 説明文では要約で大切にしたい言葉を見つけること
  - ・ 物語文では俯瞰して読み感想を書くこと
  - ・ 日常の一場面を切り取って書く日記指導
  - ・ 効果的な文章表現をまねて学ぶ視写指導
- 漢字やことわざ、慣用句については、文章の流れで意味をとらえさせる。そして年間を通して系統的に学び、積み重ねていく。また、日記などで日常的に使うよう意識させる。
- 「話す」力は高いので、引き続き子ども同士が学び合い表現する時間を確保するなど、発表力をつける指導を行う。

### 【算数科】

- 図形の面積や割合について力をつけるために、既習学年のワークシートや「みえスタディ・チェックワークシート」を家庭学習や授業等で取り組んでいく。
- 算数的活動を通して、授業の中で考え方を導き出し、自分の考えを式だけでなく、文章化して説明できるように指導にする。自力解決と伝え合う場（学び合う場）を充実させる。
- オンライン授業を契機として、子どもたちの理解を高めるためICTの活用を充実していく。
- 意欲を引き出すために生活に根ざした学習課題を設定する。